

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年10月14日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

5日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	松本市	代表者名	臥雲 義尚
担当者部署	DX推進本部	連絡先電話番号	0263-34-8348
担当者役職	技師	担当者氏名	石神 真有子
		連絡先E-mail	
住所	390-8620 長野県松本市丸の内3-7		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体システム標準化やガバメントクラウドへの移行について、他自治体の状況や松本市の方針についてのアドバイスを頂いた。 各原課の業務について業務フローの作成はできているので、全体を俯瞰するDFDの作成方針の決定や、多自治体の利用しているシステムの松本市への展開の方法などをご教授いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年10月28日	支援・助言	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	12時00分	0
				活動時間（分）	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	DX推進本部職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体システム標準化やガバメントクラウドへの移行時期について、現行業者の継続は決定しているが、リスクを最小限に抑える方法について検討をしている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	移行スケジュールの決定と、国や他自治体の動向について情報収集する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今時点での国の方針と、他自治体の自治体システム標準化やガバメントクラウド移行に向けた準備状況を踏まえ、松本市の示す移行スケジュールで問題ないことを確認した。	
支援を受け改善又は解決された内容	移行スケジュールの方針決定、また、万が一の場合を想定した検討も必要だということをお話いただいた。	

(具体的にご記入下さい)	へんりんりん。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 業務フロー
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 少人数での相談だったためアンケート未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	自治体システム標準化とガバメントクラウドへの安全な移行	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

写真撮影を失念したため、写真がありません。
申し訳ありません。

